

第2回 同志社ゼミ

ゼミ担当者 : 藤本 万里子, 真武 信和, 久松 望美
 指導院生 : 吉田 昌太, 森 隆史
 開催日 : 2003年6月9日

ゼミ内容: 本ゼミでは、現在やこれからの同志社、外部との関わりについて知り、同志社大学の学生として同志社に関する深い知識を持つことを目的とする。また、キリスト教や他大学について学び、社会に出てから出会う人々とのふれ合いに役立てることを目的とする。

1 キリスト教

1.1 キリスト教とは

キリスト教とは、イエス・キリスト¹を救世主（メシア）と信じ、神による魂の救済を求める宗教である。イエスの死後、弟子達がローマ帝国の各地で伝道を開始し、ヘレニズム文化²を取り入れて成長した。仏教、イスラム教と共に世界三大宗教の一つである。イエスが十字架にかかった地であるエルサレムを聖地としている。ローマ帝国の分裂後、ローマを中心とするラテン文化圏の西方教会と、コンスタンティノポリス（現在のイスタンブール）を中心とするギリシャ文化圏の東方教会に分かれ、それぞれの発展を遂げた。

Table 1 キリスト教

教祖	イエス・キリスト
発祥年代	紀元元年頃
主要地域	ヨーロッパ, 南北アメリカ
教典	旧約聖書, 新約聖書
聖地	エルサレム, ベツレヘム, ナザレなど
聖職者	神父, 牧師, シスター
祈りの方法	両手を組む, 十字を切る
戒律	十戒
主な行事	クリスマス, イースター, 聖霊降臨日

1.2 キリスト教の宗派

キリスト教には数多くの宗派があるが、キリスト教三大教派と呼ばれるのは、カトリック教会、プロテスタント教会、東方正教会である。カトリック教会（Fig. 1）とプロテスタント教会（Fig. 2）の比率は世界で約 6 対 4、日本ではその逆で 4 対 6 となっている。Table 2 にカトリックとプロテスタントの特徴を示す。

● カトリック教会（Catholic）

カトリックの伝統的な教えは、ローマ法王は全カトリック教会に対して最高の統治権を有するというものである。カトリックとは「普遍的」という意味で、自らをそうであると信じている教会が、全人類に神の恵みを与える救いの機関であることを表している。神と個人の仲介役として神父が存在し、一般の人々は神と直接の関係を持つことは出来ないとされている。日本でのカトリック教会は、1549年、フランシスコ・ザビエルの来日により始まり、2000年度では、日本の信徒数は約 44 万人に至った。カトリックの中心的祭儀はミサで、ミサが行われる聖堂（Fig. 3）には、イエスやマリアの聖像・聖画が掲げられている。また、キリストの生涯を年間を通して記念する典礼暦があり、クリスマス、イースター（復活祭）、聖霊降臨祭などがある。

● プロテスタント教会（Protestant）

宗教改革によりカトリック教会から分かれたキリスト教の宗派で、「新教」とも呼ばれる。カトリックにおける、聖人への崇敬や霊名（洗礼名）³などの習慣を廃止した。16世紀の神学者であるマルチン・ルターが、聖書の教えから遠ざかったカトリック教会に対して抗議（protest）したことから、その呼び名がついた。プロテスタントには多数の教団教派が存在し、現在、世界で 4 億人あまりの信者がいると言われている。プロテスタントは、各個人が聖書を読むことの重要性を主張しており、聖書の福音⁴（神のことば）に根ざしつつ、その実現を目指すという特色を持っている。カトリックのミサを簡素化した礼拝式が、プロテスタントの主要な儀式である。礼拝堂（Fig. 4）には一切の像を置かず、説教壇のうえに大きな聖書が置かれ、シンプルな十字架が掲げられている。礼拝では賛美歌が歌われるが、この「賛美歌」は、プロテスタントに特有の言葉で

¹「イエス」は名「キリスト」はギリシア語で救世主という意味

²ヘレニズム時代にギリシア人が東方に移住したため東西文化が融合し、新しい文化が生まれた

³洗礼の時につけられる名で、聖人の名を霊名として与える

⁴元は、一般的により知らせを意味した

Table 2 カトリックとプロテスタント

	カトリック	プロテスタント
組織	ローマ法王を頂点としたピラミッド型	数多くの宗派がある
聖職者	神父，修道士，シスター（生涯独身）	牧師（結婚は自由）
教え	神父が神と個人を仲介	神と個人が直接の関係を持つ
教会	豪華，壮麗	質素，モダン
祭儀	ミサ	礼拝

ある．現在，日本の信者数は約 14 万人で，全国に 1700 近くの教会がある．同志社は，このプロテスタント教会に属する．

● 東方正教会

東方教会の流れを汲み，原始キリスト教の精神に基づく宗派．東ヨーロッパを中心に広がり，15 世紀半ば以降ロシアが東方教会の大国となった．日本ではギリシャ正教または単に正教とも呼ぶ．



Fig. 1 カトリック教会



Fig. 3 聖堂



Fig. 2 プロテスタント教会



Fig. 4 礼拝堂

1.3 同志社におけるキリスト教

同志社大学はキリスト教主義を基本理念の一つとして掲げ、自由と個々の人格を重んじ、国際社会に貢献する人を育むことを目的に創設された。新島襄は教育者（同志社校長）であると同時に、牧師（アメリカンボードの宣教師）でもあり、キリスト教の伝道にも熱心に取り組んだ。同志社の開校は、京都におけるプロテスタント伝道の開始であったといえる。以下では、同志社におけるキリスト教関連の活動や建築物を紹介する。

- 全同志社メサイア演奏会

同志社では、クリスマスの恒例行事として全同志社規模でメサイア演奏会が行われる。長い伝統を持ち、同志社関係者だけでなく一般の人々にも広く親しまれているイベントである。同志社交響楽団、グリークラブ、聖歌隊などが出演し、コンサートやハンドベルの演奏、キャンドルライトサービスなどが行われる（Fig. 5）



Fig. 5 メサイア

- キリスト教文化センター

同志社大学は、教育研究機関としてキリスト教文化センターを設立した。同志社に学ぶ全ての人々と地域の方々のために、多彩な講座を公開している。また、学内外の様々な分野の人々を説教者・講師として招きお話をいただく、チャペル・アワーと呼ばれるプログラムが開催されている。

- 新島記念講堂（京田辺）

全同志社共用の礼拝堂として、募金により1989年9月に竣工した。女子大校地内に建設されている。（Fig. 6）



Fig. 6 新島記念講堂

- 礼拝堂（今出川）

アメリカン・ボードの寄付を得て、1886年6月に竣工した。日本において、現存するプロテスタント派・煉瓦造の礼拝堂の中では、最古のものである。アメリカン・ゴシック様式の鉄板葺きの煉瓦造りで、国の重要文化財に指定されている。同志社卒業生の結婚式等に借りることが可能である。（Fig. 7）



Fig. 7 礼拝堂

1.4 聖書の言葉

- 「真理はあなたたちを自由にする」（ヨハネによる福音書 8章 32節）

この言葉には、学問の本質ともいえる「真理の追究」と、その成果がもたらす「人間の自由」という学問の目的が簡潔に示されている。新島襄はこの聖句を愛し、真理への扉を開く、自由に満ちた大学の創設を目指した。

- 「知識は人を高ぶらせるが、愛は人を造り上げる」
(マタイによる福音書 6章 34節)

単に知識を積み重ねることだけが教育ではなく、人間性を造ることにはならない。新島襄は、他者への自己犠牲的な愛が人間を造りあげるとする聖書の理念を、同志社設立にあたって主張した。

- 「あなたがたは『先生』と呼ばれてはならない。あなたがたの師は一人だけで、あとは皆兄弟なのだ。『教師』と呼ばれてもいけない。あなたがたの教師はキリスト一人だけである」 (マタイによる福音書 23章 8・10節)

新島襄は、教える者も学ぶ者も共に学ぶという姿勢を大切にするため、この聖句を常に心に留めていたという。

2 同志社大学の新しい取り組み

同志社大学は、2004年4月(文化情報学部は2005年4月)に下記の学部・学科、専門(職)大学院を新設する。それに向けて準備を進めている。

2.1 学部・学科、大学院の新設

2.1.1 学科の増設

- 工学部 情報システムデザイン学科

これからの社会では、電子政府、電子商流、サプライチェーン、広域福祉・医療システム、遠隔教育、高度交通情報システムなどの情報システムが果たす役割は極めて大きい。このような社会的要請に応えるため、高度な情報処理能力を持ち、生活、ビジネスおよび生産等の各分野において人間の創造活動を支援する情報システムを構築できるエンジニアの養成を目的として設置される。入学定員100名、収容定員400名である。Fig. 8に研究分野と講義内容を示す。

- 工学部 環境システム学科

地球環境システムに関する知識を身につけて、多様な環境問題に対処できる技術者と、人間環境に関連する科学の基本を理解して、福祉や介護を含めたより良い人間生活の環境設計に携わる人材の育成を目的とする。入学定員50名、収容定員200名である。Fig. 9に研究分野と講義内容を示す。

2.1.2 学部の新設

- 政策学部

現代社会が複雑・多様化するとともに、高い問題発見能力が求められている。政策学部では、まず問題発見能力を高めるために社会科学の基礎的トレーニングを徹底する。そして、政策の立案・実施・評価

研究分野	講義分野のキーワード
ビジネス情報システム	ビジネスモデル、電子商流、サプライチェーンマネジメント、ポータル情報システム、ソフトウェア工学、保守と逆エンジニアリング、開発環境/開発管理、オブジェクト指向開発、ソフトウェア再利用、CAD/CAM、データベースサーバ、音楽映像配信サーバ、電子図書館、ネットワークラーニング
情報デザイン	デザイン学、webデザイン、コンピュータミュージック、コンピュータアート、言語処理、辞書、C言語、JAVA、映像処理、デジタルメディア、アニメーション、デジタルコンテンツ、音声処理、マルチメディア
情報学とナレッジマネジメント	情報の基礎、情報の整備と利用、情報検索、文書化、情報検索システム、グループウェア、文書作成・流通・検索技術、知識創造支援、知識流通支援、ナレッジマネジメント
センシングとコントロール	コンピュータの周辺ハードウェア、メカトロニクス、C3I(Command,Control,Communication,and Intelligent System)、計測制御、リモートセンシング、制御システム、監視システム、予測・管理技法、オペレーションリサーチ
シミュレーションとバーチャルデザイン	ビジュアライゼーション、分野別数値解析、シミュレーション、マルチメディアデータベース、コンピュータビジョン、協調と感性、バーチャルリアリティ
ネットワーク情報システム	ネットワーク基礎技術/OSI、インターネット、オートマトン、論理設計、TCP/IP、ルーティング、WWW、実装技術、外部記憶装置、マルチメディア入出力、モバイル/ウエアラブルコンピュータ、セキュリティ、暗号、情報倫理、デジタル・ディバイド

Fig. 8 情報システムデザイン学科の研究分野と講義内容

研究分野	講義分野のキーワード
地球システム科学	地球システム、地球ダイナミクス、環境変動、地球物質科学、水圏モデル、気候モデル、地圏環境、大気水圏環境、大規模シミュレーション
環境保全・防災技術	自然災害対策、環境地質学、環境探査技術、観測技術、リモートセンシング、環境評価、災害予測、災害対処プランニング
新エネルギーシステム	資源エネルギー論、循環型材料論、循環型エネルギー論、エコエネルギー、エネルギー環境論、エネルギー反応論
生命環境保全	生物多様性、遺伝子保存、生命環境保全、生態学、動物行動学、生物資源、保全生態学、バイオマス
運動機能・生理学	運動心理学、筋肉運動機能、関節機能、運動器システム、運動器病態学
人間環境科学	免疫システム、生体医療、リハビリテーション、生活環境デザイン、生態病理学、保険医療システム情報学、環境医学、福祉工学、福祉介護

Fig. 9 環境システム学科の研究分野と講義内容

活動とそれらの活動を担う組織やネットワークを編成したり管理・運営したりする際に必要な知識や技術を積み上げるといふ、新しいタイプの社会科学系学部の実現を目指す。

- 文化情報学部

2005年4月開設予定である。

2.1.3 大学院の新設

- 法科大学院(仮称)

司法制度改革審議会が2001年6月に発表した「意見書」では人的基盤(法曹)の拡充・強化のためには、従来の司法試験のような「点」のみによる選抜ではなく、「法科大学院」を設置し、法曹養成制度を新たに整備すべきであると提言している。そこで、同志社大学法科大学院は、新司法試験、司法修習と連携した基幹的な高度専門教育機関として、司法における人的基盤の一翼を担う人材の養成を目的とする。原則3年制の専門職大学院で、入学定員150名、収容定員450名である。

- 経営大学院：ビジネス研究科ビジネス研究専攻(専門大学院)(仮称)

同志社大学経営大学院は、同志社大学が新たな企業社会との連携の場を構築し、現代企業が抱えるさまざまな課題に応えうる優れた経営ノウハウを開発、提供し、常に企業と社会に開かれた教育と研究を行うことを目的とする。入学定員は1年制30名、2年制40名、収容定員110名である。

2.2 情報メディア施設

2003年10月の完成をめざし、京田辺キャンパスの正門北側3581の敷地に建設中である。本施設は、法人施設と大学施設の2棟からなり、情報機器を活用した実践的教育の空間として利用され、メディア・フロンティアの同志社を象徴する施設となることが期待される。

法人施設「同志社ローム記念館」は、国際中学・高校生を含む大学・女子大学の学生たちが自由にコンピュータやネットワークなどの最新技術を習得できる施設として、半導体メーカーのローム株式会社から多額の寄付をうけて建設される。階段状のオープン・テラス〔劇場空間〕、スタジオ機能、メディア・ラウンジ、プロジェクトルームなどを擁する地下1階、地上3階の建物となる。

大学施設である「情報メディア館」は、「同志社ローム記念館」の北側に隣接し、屋外テラスなどの共有スペースで結ばれたシームレスな環境を提供する。演習室や情報処理実習教室などを擁するこの4階建の施設は、正課授業での使用を目的とし、最上階の遠隔講義室で

は今出川キャンパスや他大学などと結んだ授業を可能にする。



Fig. 10 情報メディア施設：正門側から見た外観(完成予想図)



Fig. 11 情報メディア施設：北門側から見た外観(完成予想図)

2.3 交隣館(京田辺校地教員ラウンジ棟)

2003年5月に完成した、2階建(1200)の交隣館(京田辺校地教員ラウンジ棟)は、交流ロビーは学生が自由に出入りでき、また、従来の嘱託講師の控え室が拡張された。その他、相談や指導の場としての面談ブースを設けるなど、学生と教員の交流が一層活発になることを目的としている。

2.4 新大学会館(仮称)

新大学会館(仮称)は、延床面積18,115の7階建てで、2004年3月竣工予定である。千人収容の大ホール、百人規模のマルチメディア対応会議室、ミニシアター、ギャラリー、フィットネス・ジムなどのほか、メインラウンジを中心にメディアコーナー、リラクゼーション・スペース、学習室、オープン利用ミーティング・スペース、女子ラウンジ、中・小会議室などが設置される。1、2階には学生生活に関わりの深い事務部門が入る予定。最上階の7階に東山を一望するスカイレストランを設け

る。2階の一部と3階から5階は、設置申請準備中の法科大学院と経営大学院が使用する。



Fig. 12 交隣館正面



Fig. 14 新大会館 (完成予想図)

2.5 新研究室棟・新教室棟 (仮称)

2004年4月の今出川校地において、政策学部、法科大学院、経営大学院ビジネス研究科の開設にともなう教学体制の新たな展開と、研究開発推進事業が始まる。教員の増員計画による研究室不足を解消し、少人数教育の理念実践や教室不足に対処するため、新町キャンパスに「新研究室棟・新教室棟 (仮称)」を新築することになり、2005年9月の竣工予定である。



Fig. 13 2階から見たロビー



Fig. 15 新研究室棟・新教室棟 (完成予想図)

3 知能情報センター (香知館)

文部科学省の「学術フロンティア推進拠点」⁵のプロジェクトの一つに位置づけられた知能情報センターは2001年3月30日に竣工された。3階建て、4000の面積を持ち、高速数値計算サーバー、超並列進化シミュレーター、磁気共鳴画像撮影装置 (MRI)、音響心理実験

⁵文部科学省「学術フロンティア推進事業」：私立大学および大学院を対象として、優れた成果をあげる研究組織を「学術フロンティア推進拠点」や「ハイテク・リサーチ・センター」に指定し、科学技術の発展を支援するものである。

設備, 知的判断/行動制御システムなどの最新設備が導入されている。ここでは, 2000 年度から 5 年間に渡り「知能情報科学とその応用に関する研究」として, 知的エンジニアリングデザイン, 知的情報処理およびメディア情報処理, 知的化のための基礎理論などの研究が行われている。建設費を含むプロジェクト費は 5 年間で 18 億円で同省が半額を補助している。このプロジェクトリーダーは三木光範教授である。



Fig. 16 知能情報センター (香知館) 正面



Fig. 17 超並列進化シミュレーター



Fig. 18 高速数値計算サーバー

4 同志社の OB

- 竹本 繁 (イトーヨーカドー常務取締役秘書室長)
同志社大学 経済学部
- 巽 悟朗 (大阪証券取引所理事長)
同志社大学 経済学部同志社校友会名誉会長 前会長
- 小林昌彦 (フリージャーナリスト)
同志社大学 法学部
- 石原 肇 (大阪産業大学 経営学部経営学科 教授)

- 長谷川秀樹 博士
(奈良先端科学技術大学院大学 研究員)
同志社大学 工学部
- 石丸 次郎 (ジャーナリスト)
同志社大学 文学部
- 野上芳彦 (京都精華大学教授)
同志社大学 文学部

5 他大学 (早稲田, 慶應) との比較

5.1 早稲田大学

5.1.1 早稲田大学の歴史

1882年 東京専門学校創設開校式にて校長 大隈英磨が「開校の詞」を朗読、小野梓が演説、「学問の独立」の精神を宣言。政治経済学科, 法律学科, 理学科のほか英学科を設置。入学生 80 名。

1886年 校外生制度発足。「講義録」発行

1902年 早稲田大学に改称大学部と専門部を新設し、大学部に政治経済学科, 法学科, 文学部を設置。創立 20 周年記念式典・早稲田大学開校式を実施。

1903年 高等師範部 設置。早慶野球戦開始

1904年 専門学校令による大学となる / 大学部に商科 設置

1907年 大隈重信 総長就任。校長・学監制を廃し総長・学長制を採用。大隈重信総長, 高田早苗学長が就任。創立 25 周年記念式典。校歌制定。

1911年 早稲田工手学校 (早稲田大学 芸術学校の前身) 開校

1913年 「早稲田大学教旨」制定。創立 30 周年記念式典実施。建学理念を継承・発展させた教旨を宣言。校旗, 式服・式帽制定。

1920年 大学令による大学となる。政治経済学部, 法学部, 文学部, 商学部, 理工学部, 大学院設置。早稲田高等学院設置。

1921年 聴講生として初の女性 12 名が入学

1922年 大隈重信死去・国民葬。物理学者アインシュタイン来学

1927年 大隈講堂落成

1939年 女性が初めて学部へ入学 (4 名)

1940年 理工学部研究所 (現・理工学総合研究センター)・興亜経済研究所 (現・アジア太平洋研究センター) 設置

1943年 学徒出陣壮行野球試合・早慶戦開催

1949年 新制早稲田大学 11 学部開校。新制早稲田大学高等学院開校

1951年 学校法人となる。新制早稲田大学大学院 6 研究科設置 (修士課程)

1952年 体育局設置 / 破防法をめぐる 5・8 早大事件

1953年 新制大学院 6 研究科設置 (博士課程)

1955年 外国学生特別選考制度発足

1956年 生産研究所 (現・アジア太平洋研究センター) 設置。校友初の総理大臣・石橋湛山内閣誕生

1957年 記念会堂竣工 インド首相ネール来学

1959年 電子計算室 (現・メディアネットワークセンター) 設置 語学教育研究室 (現・語学教育研究所) 設置

1962年 アメリカ合衆国司法長官ロバート・ケネディ 来学

1963年 国際部 設置。大隈重信生誕 125 年記念祭開催

1964年 国際部、日本人学生を聴講生として受入開始

1966年 社会科学部 設置

1970年 第 1 回ホームカミングデー開催

1974年 産業経営研究所 設置

1978年 現代政治経済研究所設置 早稲田大学専門学校 開校

1982年 早稲田大学 本庄高等学院 開校 創立 100 周年記念式典

1987年 人間科学部、人間総合研究センター 設置

1988年 日本語教育研究センター 設置 オープンカレッジ開設

1989年 社会科学部自己推薦入試 開始 キャンパスツアー 開始

1990年 大隈ガーデンハウス竣工 / 教育学研究科 設置

1991年 総合学術情報センター 開館。人間科学研究科 設置 教育学部自己推薦入試 開始

1993年 アメリカ合衆国クリントン大統領来学

1996年 メディアネットワークセンター 設置

1997年 アジア太平洋研究センター 設置 ハイテク・リサーチセンター竣工

1998年 大学院アジア太平洋研究科 設置 會津八一記念博物館 開設 国際情報通信研究センター 設置 教育総合研究所 設置 中華人民共和国 江沢民主席来学

1999年 総合健康教育センター竣工

2000年 大学院国際情報通信研究科 設置

2001年 大学院日本語教育研究科 設置。理工学総合研究センター九州研究所 設置。専門学校を芸術学校に改称 設置 5 大学間学生交流開始 東京女子医科大学, 武蔵野美術大学と学術交流開始。

2003年 専門職大学院アジア太平洋研究科 (MOT) 設置 専門職大学院公共経営研究科 設置 大学院情報生産システム研究科 (北九州) 設置 スポーツ科学部 設置 川口芸術学校 設置

5.1.2 早稲田大学の学部

- 政治経済学部
- 法学部
- 第一文学部
- 第二文学部
- 教育学部
- 商学部
- 理工学部
- 社会科学部
- 人間科学部
- 人間科学部通信課程（2003年4月開設）
- スポーツ科学部（2003年4月開設）

19に理工学部の構成を示す。

5.2 慶應義塾大学

5.2.1 慶應義塾大学の歴史

1858年 福澤諭吉、蘭学塾を創始

～大阪で緒方洪庵の適塾塾長をしていた福澤諭吉は、藩から江戸出府を命ぜられて江戸へ。藩士長屋で蘭学塾を開いた。これが慶應義塾の始まりである。～

1860年 咸臨丸で渡米

～福澤は軍艦咸臨丸に乗って浦賀を発ち、アメリカのサンフランシスコに行った。そのときウェブスターの辞書を持ち帰った。～

1862年 欧州6カ国を巡遊

～福澤は幕府の遣欧使節の随員としてヨーロッパに渡る。フランス、イギリス、オランダ、プロシヤ、ロシア、ポルトガルを巡った。～

1863年 英学塾に転向

～福澤は開港直後の横浜を見学してオランダ語の実用性の低さを知り、英学へ転向。塾を英学塾に一新した。～

1868年 慶應義塾と命名

～1867年再度渡米した福澤は、新しい教育の必要性を感じ、1868年時の元号にちなんで塾名を「慶應義塾」と定め、イギリスの共立学校（PublicSchool）の制度にならない、授業料制で藩や国家から独立した近代教育の学塾に改めた。～

1890年 大学部の発足

～ハーバード大学より3人のアメリカ人を主任教授として招聘し、大学部（文学部、理材科、法律科）を発足。日本の私立総合大学の先駆けとなった。～

1898年 一貫教育の完成

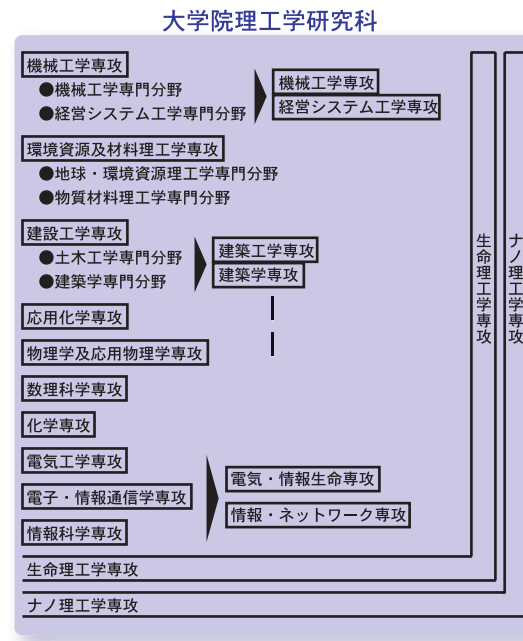
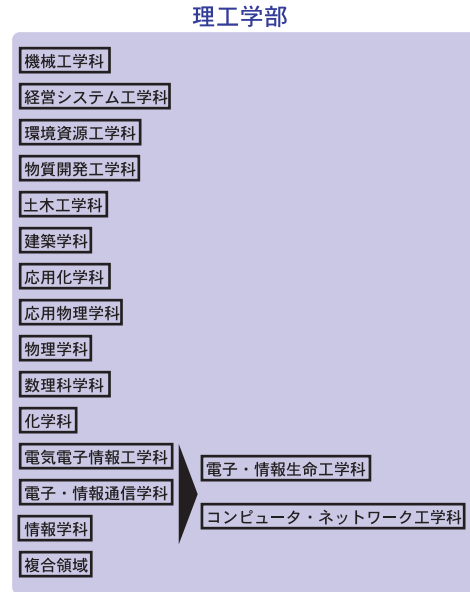


Fig. 19 早稲田大学理工学部・大学院理工学研究科の構成

～ 5年制の大学部，5年制の普通部（中等教育），6年制の幼稚舎（初等教育）からなる組織に改編した．～

1899年 私学初の海外留学生派遣

～ 義塾出身の教員を育てるために福澤は，大学部の卒業生数名を欧米に留学させる．私学初の留学生派遣である．帰国後彼らは教授陣に加わり，半学半教の伝統に新たな成果を生んだ．～

1906年 大学院設置

～ 学部卒業後のさらなる教育・研究を望む気運が塾内に広まり，大学院が設置された．現在の新制大学院になったのは1951年．義塾は早くから大学院の役割を重視していた．～

1917年 医学教育の出発

～ 福澤と生前深い親交のあった北里柴三郎が初代学部長として医学部を発足させた．～

1920年 文経法医からなる総合大学へ

～ 1918年公布の大学令に基づいて，日本における私立大学第1号として慶應義塾大学は予科，大学院を付設して新しく発足．文・経済・法・医の4つの学部からなる総合大学がスタートした．～

1934年 日吉キャンパス開設

～ 1928年日吉台に13万坪の敷地を確保．1934年第一校舎と体育施設が竣工し，日吉キャンパスが開設された．～

1944年 藤原工業大学から義塾工学部へ

～ 義塾出身の製紙王・藤原銀次郎が創設した藤原工業大学が義塾に寄付され，慶應義塾大学工学部となった．～

1957年 商学部の開設

～ 慶應義塾創立100年を控え，商学部が義塾6つ目の学部として誕生した．実学の精神を継承し，社会の要請に応えるべく実現されたものである．～

1981年 工学部を理工学部に改組

～ 工学部に数理科学科・物理学科・化学科を新設。理学と工学とが調和した新たな理工学部へと飛躍した．～

1990年 湘南藤沢キャンパスに総合政策学部・環境情報学部開設

～ 湘南藤沢キャンパスは大きく転換するメディア環境に対応し，既存の学問の成果を横断的に再編成する全く新しいコンセプトに基づく研究・教育の場として開設された．総合政策学部と環境情報学部の2学部を擁しての出発であった．～

2001年 湘南藤沢キャンパスに看護医療学部開設

5.2.2 慶應義塾大学の学部

- 文学部
- 経済学部
- 法学部

- 商学部
- 医学部
- 理工学部
- 総合政策学部
- 環境情報学部
- 看護医療学部
- 通信教育部

Fig.20 に理工学部の構成を示す。

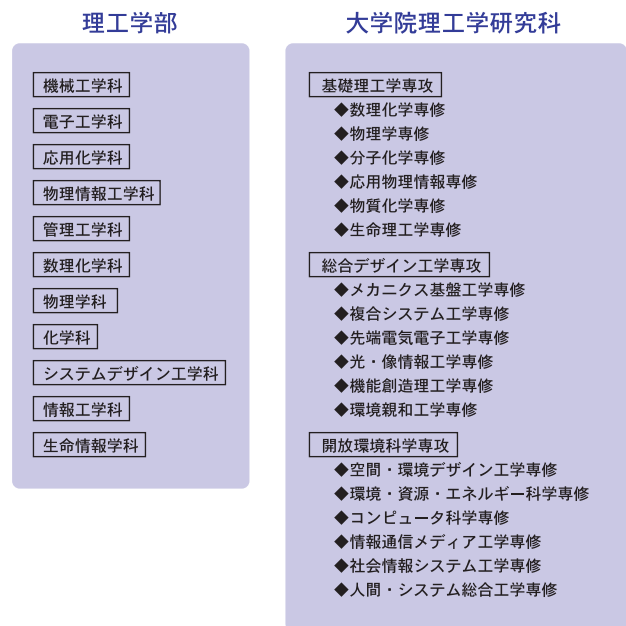


Fig. 20 慶應義塾大学理工学部・大学院理工学研究科の構成

6 京都の通り

千本寺 浄福寺 智恵光院 日暮 松屋 大宮 黒門 猪熊 よし川 堀川 醒井 油小路 小川 西洞院 釜座 新町 衣棚 室町 両替町 烏丸 車屋 東洞院 間之 高倉 堺町 柳馬場 富小路 麩屋 御幸町 寺町

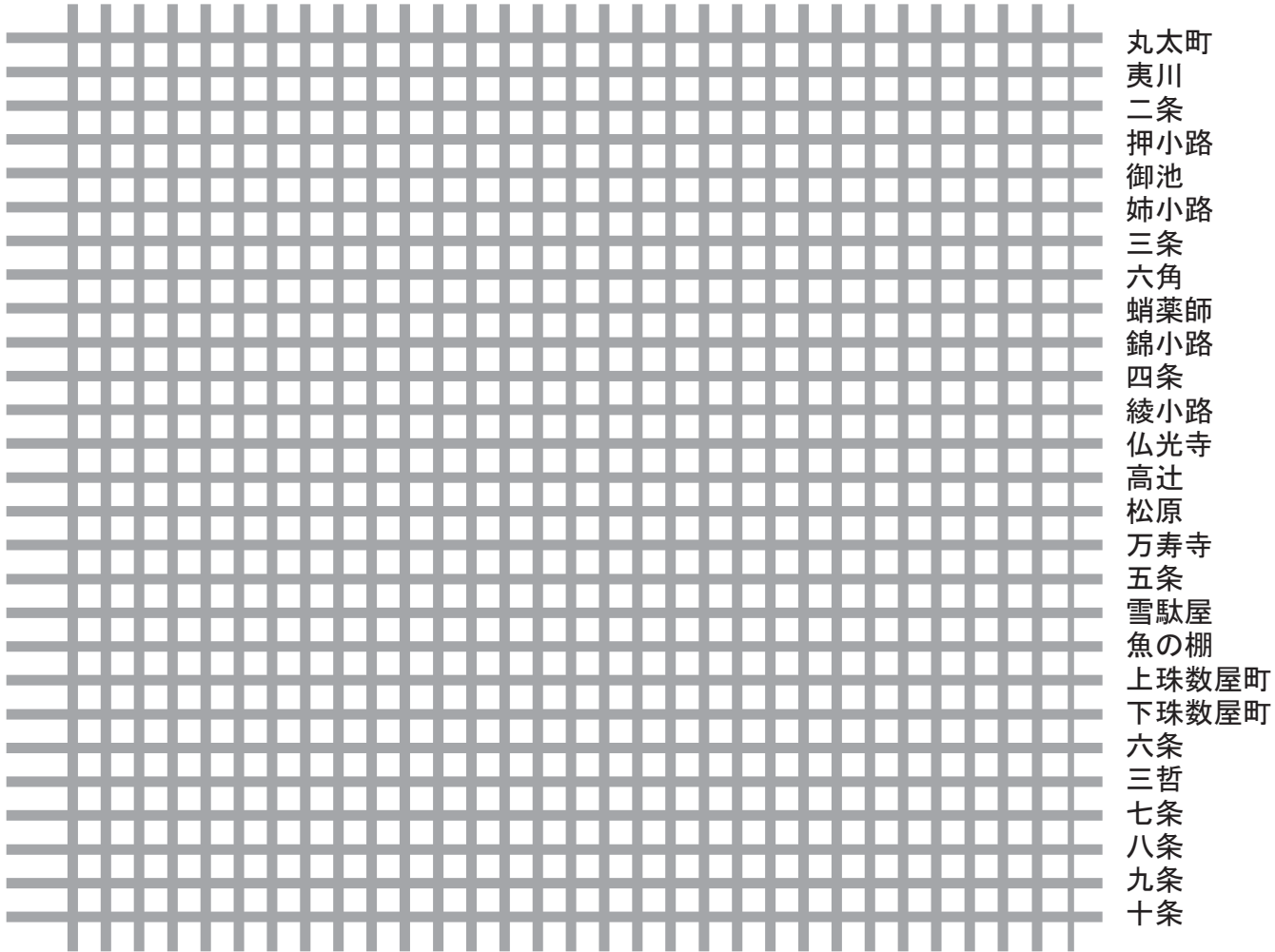


Fig. 21 京都の通り

丸竹夷二(まるたけえびす), 押御池(おしおいけ),
姉三角(あねさんろっかく), 蛸錦(たこにしき),
四条綾仏, 高辻, 松万寿, 五条雪駄屋
(しあやぶっ/たか/まつまん/ごじょう/せった),
魚の棚(うおのたな),
六条三哲(ろくじょうさんてつ) 通り過ぎ,
七条越えてれば八九条,
十条東寺(じゅうじょうとうじ) でとどめさす.

Fig. 22 京都の通り(南北)の歌

寺町, 御幸町, 藪屋町, 富小路, 柳馬場, 堺町,
高倉,
間之町, 東洞院, 車屋町, 烏丸,
両替町, 室町, 衣棚, 新町, 釜座, 西洞院, 小川,
油小路, 醒ヶ井, 堀川, よし屋, 猪熊,
黒門, 大宮, 松屋, 日暮, 智恵光院浄,
浄福寺, 千本(はては西陣)

てらごこふやとみ, やなぎさかい, たか,
あいのひがしに, くるまやちょう, からす,
りょうがえむろも, しんまちかまんざ, にしおがわ,
あぶらさめがいのほりかわのみず, よしやいの,
くろおおみやへ, まつひぐらしに, ちえこういん,
じょうふくせんぼん, はてはにしじん

Fig. 23 京都の通り(東西)の歌